



特定非営利活動法人 キュアスターツナウジャパン

**THE CURE
STARTS NOW™
JAPAN**

**NEWS
LETTER**

VOL.

3

DEC./2025

EVENT

「あじさいサミット」でレモネードスタンド実施!!

2025/11/30(日) 相模女子大で開催。多くの来場者を集めた楽しいイベントに。

2025年11月30日(日)、神奈川県相模原市にて、医療関係者の皆さまが毎年開催している医療啓発イベント「あじさいサミット」が今年も開催されました。相模原を拠点にしているCSNJメンバーの高木氏の団体である「トルコキキョウの会」が同サミットの運営よりお声がけをいただき、CSNJとの共同開催として、レモネードスタンドを実施する運びとなりました。実は、CSNJとしてレモネードスタンドを開催するのは、今回が初めての試みでした。実施方法については、協力くださる皆さまと何度も話し合い、トークショーを交えた企画などの案も出しましたが、最終的には「まずは王道のレモネードスタンドをしっかりと成功させよう」という方針に落ち着きました。

当日は、会場スペースに余裕があったことから、啓発用パネル11枚を並べて展示し、来場者の皆さまにCSNJの活動やDIPG/DMGについて知っていただく機会を設けました。また、高木氏の地元開催ということもあり、SNSでの発信やラジオ出演など、さまざまな形で地域の方々に呼びかけを行っていただきました。レモネードについては、調達を寄付で賄う工夫も行い、当日は約270本を配布。経費を差し引いた結果、約17万円のご支援をいただくことができました。ご協力くださったすべての皆さまに、心より感謝申し上げます。



RESEARCH

日本初!! 研究者による「DIPG/DMGシンポジウム」を実現!!

2025/12/6(土) 新潟大学脳研究所とCSNJの共催で開催しました。



2025年12月6日(土)に、新潟大学脳研究所を会場に「DIPG/DMG特別シンポジウム」を開催しました。本シンポジウムは、日本におけるDIPG/DMG(びまん性橋膠腫/びまん性正中膠腫)の治療研究と患者支援の現状を共有し、今後の展望を議論することを目的として開催されました。医師・研究者、患者家族、医療者、企業、報道関係者が一堂に会し、基礎研究から臨床試験、レジストリ構築、研究支援活動まで幅広いテーマが取り上げられました。

本会では、CAR-T細胞療法や分子標的薬ONC201、代謝研究、既存薬の再活用など、DIPGに対する新たな治療アプローチの進展が紹介されるとともに世界的に臨床試験が加速している現状が共有されました。一方で、血液脳関門や腫瘍の特性といった治療の難しさも改めて示され、日本が国際共同研究に参加するためには、全国規模のレジストリ整備と国際連携が不可欠であることが強調されました。また、日本で進められているDIPGレジストリ構築の取り組みや、患者家族団体による研究支援・啓発活動の報告も行われ、研究と患者支援を両輪で進める重要性が共有されました。患者家族による率直な言葉は、参加者にこの病気を克服したいという強い思いを改めて伝えるものとなりました。日本におけるDIPG治療研究を次の段階へ進めるための、重要な一歩となるシンポジウムでした。

CONFERENCE

第43回 日本脳腫瘍学会に参加しました

2025/12/7(日)、8(月) 山形県天童市で開催。4名のメンバーが参加。

2025年12月7日(日)、8日(月)に山形県天童市で開催された第43回日本脳腫瘍学会にメンバー4名が参加し、最新の研究を聴講しました。ONC201やCAR-T治療についてなど、DIPG/DMG関係の発表も特集されており、とても勉強になりました。また、多くの研究者と交流の機会も持つことができ、今後の研究を進める上で重要な人脈ができました。

INFOMATION

DIPG/DMGの研究実現のためにご支援をお願いしております。

クレジットカード
でのご支援が可能

サポート
キャンペーン
実施中



単発/定期のご支援

